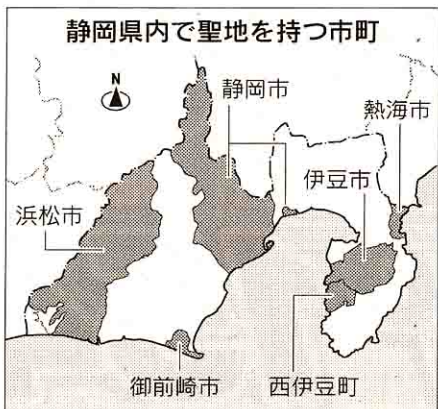


全国のロマンチックな観光スポットに恋人たちをもっと呼び込もう。静岡市の特定非営利活動法人（NPO法人）地域活性化支援センター（志垣恭平理事長）がユニークな事業に取り組んでいる。夕日や夜景が美しい場所を「恋人の聖地」と認定。カップルが訪れてプロポーズしたり、二人の愛を確かめ合ったりしている。観光振興だけでなく少子化対策にもつながると注目を集める。「好きな人への愛が届きます」。海辺の美しい景観で知られる神戸ハーバーランド（神戸市）に恋の願いがかなうという郵便ポストがある。特定

「恋人の聖地」認定

地域活性化支援センター



の日に手紙を出すと、消印に「恋人の聖地」の文字が入る。機能は普通のポストと変わらないが、好きな人に思いを伝えやすい。「幸せになれる」という若者たちの投函（とうかん）が相次ぐ。一シを抱く仕掛けがあれ

発案した志垣理事長はマーケティング会社の経営者。「スキー場などはオフシーズンの集客が難しい。『恋が実る』などのイメージを掲げ、普通の人にも受け入れられるような活動を展開したい」と志垣理事長。

観光客呼び込みに一役



水平線に沈む夕日を目的に多くの恋人たちが御前崎を目指す

ば、若い観光客が増えて魅力的な場所に変わる」と狙いを説明する。

聖地に選ばれると「恋人の聖地」の銘板を掲げ、観光客の誘致に役

で、観光客の誘致に役立ち、駿河湾を一望できる日本平（静岡市）では八年七月現在で六十四カ所。全国からの応募を受け、年に四回開く選定委員会が決める。ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、女優の菊川怜さんらがボランティアで委員を務める。

二〇〇六年四月に活動を開始。恋人の聖地は〇八年七月現在で六十四カ所。全国からの応募を受け、年に四回開く選定委員会が決める。ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、女優の菊川怜さんらがボランティアで委員を務める。

立つ。駿河湾を一望できる日本平（静岡市）では八年七月現在で六十四カ所。全国からの応募を受け、年に四回開く選定委員会が決める。ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、女優の菊川怜さんらがボランティアで委員を務める。

「鍵」という独自のグッズが燃やす。「聖地をきっかけに若い人たちが増え、地域が大きく変わった例もある」と志垣理事長。今後は成功例を全国に発信し、地域活性化のモデルとしていきたい考えだ。

どで作品を募り、六百七十一件が集まった。「転勤のない仕事があるよ」「電話より近いとこで毎日話したいよな〜！」など二十七作品を優秀賞に選んだ。「結婚の素晴らしさを感じるきっかけをつくれれば、未婚化の解消にもつながる」（志垣理事長）と期待する。

鈴木由紀子理事は「青森や和歌山、熊本など聖地がまだない県でも発掘していきたい」と意欲を燃やす。「聖地をきっかけに若い人たちが増え、地域が大きく変わった例もある」と志垣理事長。今後は成功例を全国に発信し、地域活性化のモデルとしていきたい考えだ。

今後は成功例を全国に発信し、地域活性化のモデルとしていきたい考えだ。